

第 8 9 号

発 行
岐阜県加茂郡
東白川村公民館
印 刷
今井印刷所

東白川 報

昭和 41 年 4 月 15 日 発行

季節のはなし

4月の和名を「うづき」といいます。卯の花の咲く季節とも、稲の種を植える月、植がなまつて「うづき」となつたともいわれます



さまざまの事おもひ出す
桜かな
芭蕉

本村の昭和四十一年度の一般会計、特別会計予算ならびに関連の議題について三月十二日議会を招集し、会期五日間で上程した総額一億一千八百九十七万八千円の予算および諸議案を全部議了し十六日に成立しましたので、その概要について報告します。

予算の編成にあつては合せて一般会計当初予算歳入額を三、五、五〇〇円とした前年度予算をもとに立案したものであつて、従がつて新鮮味のある予算とはいえないかも知れませんが、地方自治本来の姿をくずさないよう努力しました。

一般会計予算
財政の基盤は税収入ですが、税法の改正等によつて経済の高度成長にもかかわらず、増収は望めません。村税三、四四〇〇〇円のうち村民税が一、七〇〇〇〇円で、国から交付される地方交付税が年々増加され、三、三〇〇〇〇円を見込計上しましたが三割自治といわれるのも当然かと思ひます。財産収入は八、〇〇〇〇〇円計上しましたが、これは山林収入でできるかぎり伐採を抑えました。国、県の交付金および村債三、五〇〇〇〇〇円、その他



新年度予算

健全財政で村づくり

東白川村長 河田勘市

最近とくに医療費が増大し、被保険者三、一〇〇人の療養費は驚くなけれ、二、五〇〇円が見込まれ、その七〇パーセントが保険の支払いで六、九五〇〇円、それに助産費、葬祭費、育児手当、本年度から入院寝具費の支給も増して、保険料も一世帯平均一ヶ年分八、〇〇〇円に増額、五、五〇〇円を計上しました。しかし三、〇三〇〇〇円の交付金を見込み、なおかつ村から三、〇六〇〇〇円の繰入れによつて三、三〇〇〇〇円の予算を編成しました。

東白川病院特別会計予算
東白川病院会計は、理想的な病院の建設により内容も充実し、医師等人事を確保、三、三〇〇〇〇円の予算総額としました。今年度から入院寝具の貸与の制度を設け、公的医療機関であるこ

の病院は、適正な診療によつて地域住民の皆さんに、安心して満足のできる病院として福祉増進を図り、健康にして明るい村づくりの基盤としての大きな役割を果たすものと信じています。

分収造林特別会計予算
分収造林会計予算は五〇〇〇〇円、全国でもめづらしい本村自慢のものとして、現在四十ヘクタールの植栽を完了し、今後の撫育管理に つとめ三十年後における村の大きな財源が約束されている訳です。

以上、議決された昭和四十一年度当初予算編成の概要ですが、総額一億一千八百九十七万八千円の執行に当つては、できうるかぎり冗費の節限をはかり、健全財政の基本方針をゆるめず、破正をモットーとして、本村自治の円満な運営を期します。本村の発展のため、献身努力する覚悟です。どうか村内皆さんのご理解とご協力をおねがひします。

止むおえません。

しかし、保健行政と農林行政を二本の柱とし、加えて教育行政と共に一貫した方針の下に推進したいと思ひます。

国民健康保険特別会計予算
国民健康保険事業は皆さんの健康を守るため一層重要性を加えてきましたが、

春先は、火の元にとくに注意しましょう

お・母・さ・ん・の・学・校・

「東白川中央婦人学級」おわる

村のお母さんたちが、学習を続けてきました。今年度も、村教育委員会では文部省の委嘱をうけて、同学級をスタートさせるべく、準備をしています。よりよい家庭を築くための基礎として、一人でも多く参加され学習されるよう呼びかけています。

つぎに紹介するのは一年間学習をつづけられたお母さんの感想です。忙しいなかにも一生懸命学びたい、そんな意欲がひしひしと感じられるようです。



一学級生

日から私のようなものが学級生の一人である。一生懸命皆さんと共に勉強しなくてはならないが、出席したのでした。

のうちに三月閉講しました。日ごろ、自分の時間を持つ機会が少ないお母さんたちが、家のことを忘れて、講話、映画観賞、スポーツ

あまり婦人会にも出席しなかつた私が、学級生として始めて通知を受取り、今

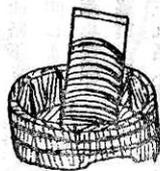
東白川病院。。。 榊原先生ら 卦任

東白川病院に、常勤の外科の先生がなく、皆さんにごめいわくをかけていました。四月一日付で岐阜県立医科大学から榊原弘先生が常勤の外科医として卦任されました。なお、内科の常勤の先

生として、藤井先生のほかにもう一名岐阜県立医科大学から近く卦任される予定。また、看護婦長（正看護婦、助産婦）も内定、五月上旬より勤務の予定です。

これで、施設陣容も整い名実ともに皆さんの病院として、安心して利用していただける体制となりました。

学級は終つても。。。 一学級生



私は婦人学級生として学級が二度目です。一昨年は分科会で生花グループに入りました。これは以前から望んでいたことですから本當にうれしく思いました。

しかし、はずかしいことですが、私は生花を知らない素人です。戦時中に娘ごかりをすこした私には、生

花をするどころか、たゞ働くことしか与えられなかつた百姓の日々でしたし、百姓家の嫁には、お茶、お花など何が必要か、ただまめで働くのが一番良い嫁だ」と云われたものでした。当

時は自分もそう思つたものでしたが、今はそれが百姓家でも季節の花くらいは活ききれいにとかわつてきたのです。

この時、お花を学ぶことのできる学級生になつて、本當にうれしく学級のある日お待ちどおしかつたのでございりましたが、あまりに

も短い生徒で終つてしまいました。でも、先生にやさしく手をとつて教えていたが活けることがわかつたのは、何にもかえがたいうれしさです。

これで止めてはもとのもくあみです。これではいかんといつしよの学級生のお友だちと相談して、おくれながらも自分たちの部落でグループをつくり、教えて

いたゞこうと思つたつてから一ヶ月余り、やつとその念願がかなつて二、三日前

子どもに

「勉強室」を

新学年のはじめは、だれでも向学心がわくものです。勉強ぎらいの子どもも、新しい教科書や参考書には目をかゞやかせられるものです。

そんなとき、ぜひ、子ども専門の勉強室を考えてやりましょう。室といつても一室を作るのではなく、い

わば勉強コーナーというよりな場所を作つてやることです。例えば部落婦人学級がほしいと思つています。

編集後記

お待たせしました。四月号をお届けします。今月号から紙質を向上見やすい広報にしたいと思つていますが、ご意見をお寄せ下さい。

新しく「趣味さまさま」をスタートさせましたが内容にかかれた面白い楽しい「趣味」を持つた人を紹介下さいませんか。

昭和41年度の一般ならびに特別会計予算が村議会において慎重に審議された結果、さる3月15日可決され成立しました。

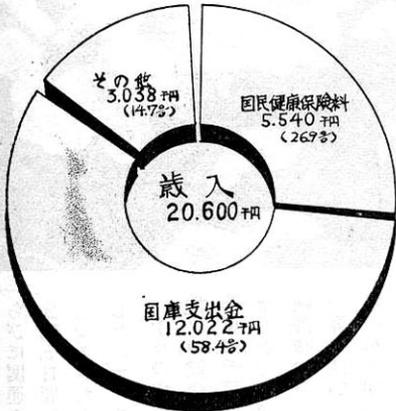
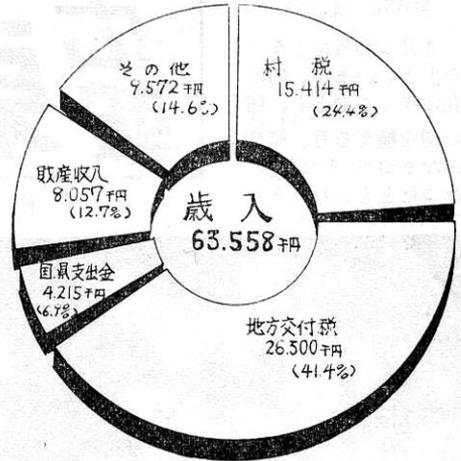
新年度予算は総額 118,978,000円と、昨年度予算より 8,990,000円の増額となっておりますが、人件費の増大、諸物価の値上りなどで、実質的には昭和40年度と変わらない予算といえます。

その内容は村の重要施策である保健衛生、農林業経営、教育振興など、より充実させるための事業計画に基づき、あくまで健全財政をモットーに編成されています。

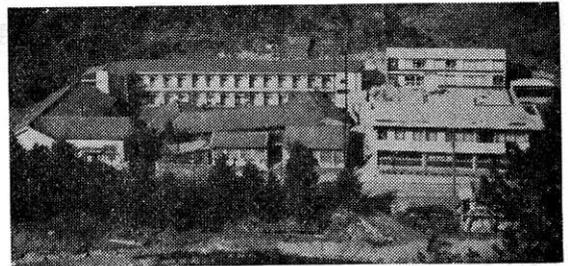
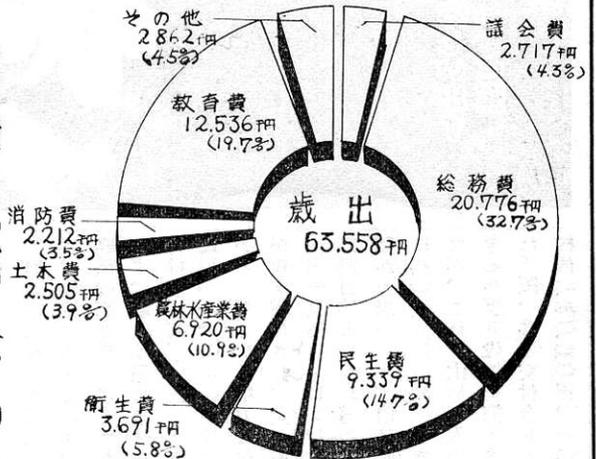
〔一般、特別会計予算内訳〕

一般会計予算	63,558,000円
国民健康保険特別会計予算	20,600,000円
東白川病院特別会計予算	34,300,000円
分収造林特別会計予算	520,000円

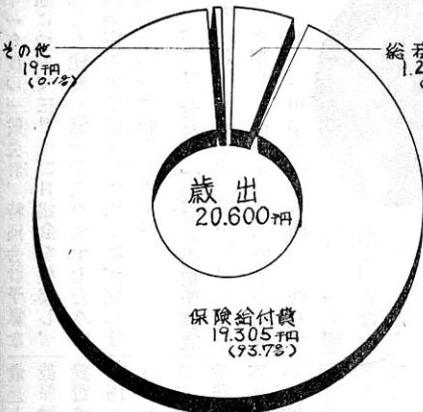
(一般会計予算)



一一八、九七八、〇〇〇円
 ……これは昭和四十一年度の村の総予算です……

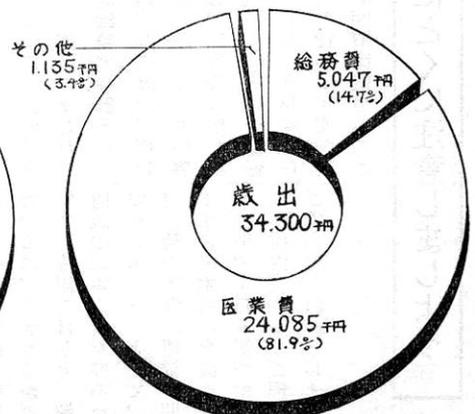
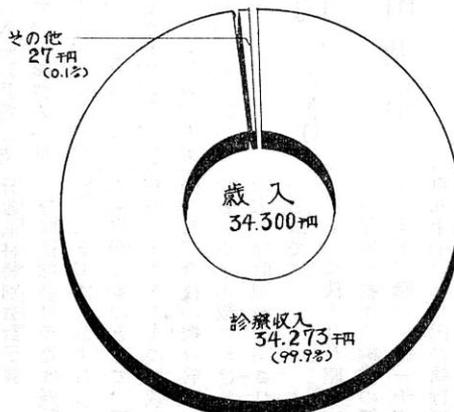


(写真は東白川病院)



上 (国民健康保険特別会計予算)

右 (東白川病院特別会計予算)



国民年金法の改正案(二) 年金額の引上げなど

前号で提出年金の改正案について紹介しましたが、今回は、保険料を掛けないで受けることのできる福祉年金について、改正案の要点を紹介いたします。

(一) 内は現在実施されているものです。

▽年金額の引上げ
①老齢福祉年金
一六、〇〇〇円(五、六〇〇円)
月額二、五〇〇円(二、三〇〇円)
②障害福祉年金
三六、〇〇〇円(四、〇〇〇円)

▽支給要件の緩和
高血圧などすべての障害を、障害福祉年金の支給対象とします。(外部障害と結核、精神病の内部障害のみ)

▽支給制限の緩和
①本人所得の限度額引上げ
一四〇、〇〇〇円(三〇〇、〇〇〇円)
②配偶者所得制限の緩和

障害福祉年金受給者の、配偶者所得による制限廃止。(所得税の非課税限度相当額)

③扶養義務者の所得限度額の引上げ
扶養親族数に応じて緩和され、標準世帯(扶養親族数五人)の場合
八七、五〇〇円(七六、四〇〇円)

④夫婦受給制限の緩和
夫婦で老齢福祉年金と障害福祉年金を受けている場合の、一部支給停止を廃止。(老齢福祉年金のうち三〇〇〇円を支給停止)以上が今度の改正案のあらましですが、実施期日は

年金額の引上げ、支給要件の緩和、夫婦受給制限の緩和などについては、昭和四十二年一月一日、所得制限の緩和は本年五月からとなつていきます。したがつて、引上げになる年金を受けるのは、昭和四十二年五月支給分からとなります。

(訂正)
前号の提出年金の改正案の記事のうち、老齢年金の二十五年提出の場合の年金額五、〇〇〇円を四、〇〇〇円に、また、障害年金の加算で、一般を一級にそれぞれ訂正します。

免除手続きは早めに

国民年金保険料

昭和四十年
度において免除を受けられた方は、その期間が本年の三月までです。料を納められることをお奨めいたします。

なお、免除の更新手続きから、引続いて保険料を納めることが困難な方は、改めて、新しく免除申請される方が四月末日までに、印鑑

ただかなければなりません。持参のうえ、役場住民係で、その手続きをして下さい。手続きをしたからといって、必ずしも免除されるとは、留意していただき、制限り保険料を納めたい方は、早めにご相談ください。

また、手続きのない場合は、保険料を納めていただきます。(住民係)

防衛庁が募集

陸士
二等
空士

防衛庁では昭和四十一年度第一次二等陸士及び二等空士を次のような要領で募集しています。希望者がありましたら、役場内住民係まで連絡下されば、くわしく説明します。

(1)募集要項
①募集人員
三九名(陸士二六名空士

村税条例を改正

大幅な減税

このたびの地方税法の改正に伴い、村の税条例が改正されました。その中の主なものをひろつてみますと、まず、個人の住民税については、基礎控除額が五年ぶりに引きあげになります。

① 基礎控除額が従来の九万円から十万円に引きあげられること

② 新しく配偶者控除の制(一名)

(1) 応募資格
満一八歳以上二五歳までの男子で中学校卒業程度の学力を要する者

(2) 試験科目
筆記試験、身体検査、口述試験

(3) 募集期日
昭和四十一年五月三十一日まで

このたびの改正は、その控除する従来課税の対象となる額を一定の範囲でとめてあります。それをこしから新しい評価額にだんだん近づけるため、毎年一定の割合だけ引きあげる事となつたのです。

しかし、これは、宅地や山林などについての措置で、田や畑については、まだ当分の間、昭和三十八年度の評価額が、そのまま据え置かれることとなります。

この改正で、宅地や山林などの土地については、固定資産税の負担が昨年より約二割ほど増えることになり、一方、課税の対象となる額が土地にあつては八万円(従来は二万四千円)、家屋にあつては五万円(従来は三万円)、償却資産にあつては三十万円、(従来は十五万円)に満たない場合は課税されないのであります。昨年度まで固定資産税のかつた人でも、これはかからなくなると存じます。

そのほか、いくつかの改正がありますが、折をみてお知らせすることにします。

今年度は十二人 先生の定期異動

毎年度末に行われる県下の小中学校の先生の異動がことしも四月一日付で発令されましたが、本村内で異動された先生がたは、つきごとおりです。

▼転出、退職の部

- (神土小学校) 大野正義 下麻生小へ
- 鎌田幸一 越原小へ
- (越原小学校) 高須哲郎 大山小へ
- 神戸寛人 川辺小へ
- 森 茂美 退職
- 山田恵子 岐阜常盤小へ

- (五加小学校) 松本範夫 多治見養正小
- 小沢定子 羽島笠松小へ
- (東白川中学校) 渡辺孝義 美濃加茂北中
- 坂井哲子 各務原稲羽東
- 服部武夫 黒川中へ

▼転入、採用の部
(神土小学校) 藤井助太郎加茂地事より
山場俊治 新採用(岐大)

- (越原小学校) 早川邦男 坂祝小より
- 鎌田幸一 神土小より
- 山口正三 新採用(岐大)
- 林 信子 〃(端穂短大)
- (五加小学校) 安江昭典 白川小より
- 正木繁美 新採用(岐大)

明るい

(話) (題) ふたつ

なんとなくせわしく、ついでに人のことなどかまっていられないのが、今日このごろの社会情勢ですが、そんな中で五加小学校今井透校長が、つぎのような心温まる話を編集局へ持つて見えましたので紹介します。

それは、五加柏本の交吉田 博可児広見小より

「優良納税貯蓄組合」 下親田組など表彰

去る三月三十一日行なわれた昭和四十年最終区長組長会議の席上、四十年中、納税に關し優秀な成績を取った東白川村納税貯蓄組合各部落に対し、村長がそれぞれ表彰状や感謝状が贈られました。

村税全部を期限内完納し他の模範となった

またさる三月三〇日陰地の稲垣彰さんが役場を訪れ村の公共事業に役立たせて下さいと、現金一〇万円を寄贈されました。これはさきに亡くなられた祖母の、稲垣かくさんの遺志によつて贈られたもので、村ではその好意を有難くお受けすることとし、早速公共事業に役立たせるため検討しています。

- 山田智恵子新採用(岐大)
- 下親田組
- 黒淵組
- 宮代組
- 平組

優秀な納税実績をあげ納税思想の高揚に寄与した

- 大口組
- 加倉尾組
- 西河組
- 久須見組

昔の税金といえは、おもに農民から年貢米として徴取したのですが、今のようにお金で納税するのではなくて、米で納める、いわゆる物納でした。そこでマスで量をはかったものですが、岐阜県の下呂のY旅館に「お目こぼしマス」が保存されています。底の四隅に小さな穴があけてあるためはかつた量よりも、こぼれて少なくなることから今の言葉でいえば「減税マス」とでもいいたいようか。



趣味 8ミリ映画 伊藤稔さん

世の中には変つた「趣味」を持つた人が多くいます。「趣味」とは辞書で見ると「面白味、おもむき、味わい」というように巾広く、そして自由に選択できるものだけに楽しく、面白い趣味を持ちたいものです。「趣味」はきつかけが大切。ある人は旅行に用かけている人は人との雑談の中からそのきつかけを見つけています。そんな意味で村の中の変つたというときこそが悪いけど、立派な趣味を持つた人を今月からペンとカメラをかついで訪れて見たいと思います。



今日、お訪ねしたのは五加区柏本の伊藤稔さんです。伊藤さんはご存じのように村長、県の出納長などを歴任されてきた名士、それだけに八ミリ映画作成の趣味を持つてみえることが、意外という気がします。反面逢つて話していれば、そんな感じは毛頭受けず、むしろ同好者というように知らず知らずのうちに話がはずんでしまします。立派な応接室、その中に色々な機械や道具をならべて、八ミリ作成の楽しさを話され、自分で自分の歴史をひもといて見えるような感じを受けました。伊藤さんの映画歴

械が改良され、フィルムが良くなると共に一般映画と同じようなカラートリーキものが出来るようになる、作成本数もうんと増えましたと話される。最近作は「岐阜国体」「九州旅行」「鯉」「岐阜の鵜飼」など一編ごとに想い出があり、昔からの作品を並べれば、一つの歴史になりそうです。八ミリ映画の楽しさは、先ず撮影するときのあの釣りのときに似た緊張感、現像されたフィルムを編集しそして音を入れる楽しさ、古いフィルムをひもといて想いでにふけると、すべてが楽しいと言われる。伊藤さんの今の願いは、そういつた八ミリの楽しさをより増すために、村のなかの八ミリマニアが同好会を発足させ、研究してよりよい作品を創りたいことだそう。楽しい、そして良い趣味を持たれた伊藤さんの話をつかぎつていくうちに、時間の経つのも忘れてしまふ程でしたが、近い将来八ミリ同好会を発足させるべく約束してお別れをしてきました。

日消旗披露式

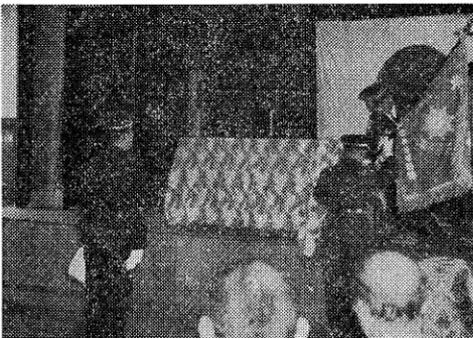
あわせて盛大に挙行

東白川村消防団が、さきもかかわらず、全団員が出に日本消防協会から表彰を受けた披露式と、昭和四十四年度入退団式がさる四日午前九時から、東白川中学校ホールにおいて、松野岐卓、渡辺代議士、長谷川、鈴木両県議員ら村内外から来賓多数を招いて盛大に挙行されました。

この日はあいにくの雨に消防団が名実ともに充実していることが証明されたとひきつづいて、今年退団する三十四名、新しく入団する二十八名の入退団式が行なわれ、退団者を代表して中島克己さんが別れの言葉を、入団者を代表して安江征六さんが力強く宣誓を行ない、先輩から後輩へのバトンタッチが無事終了したが、これで本村消防団員は二百二名と昨年より六名減りましたが、機動力と日頃の訓練によつて、村の

祝祭日には国旗を掲げましょう

防火、防災活動により完全な体制が整えられ、期待に答えることになつていきます。(写真は県消防協会から日消旗の伝達を受ける安江団長)



ろばた放談

あちこちで苗代づくりがはじまり、間もなく農繁期という感じがする。「あそこの家じゃ、もう田んぼを掘りはじめないかね」「あそこはもうすんだげな」良く聞かれる会話である。

各種団体役員 新しい顔ぶれ決まる

会長 安江民江(大明神) 副会長 古田美代子(平)

新年度をむかえ、自主的な活動を行つていく各種民

- 副会長 桂川 薫(黒淵) 書記 安江 幸(栲山) 会計 松岡つた多(陰地) 主団体役員 ぶれが決まりました。 地域社会の発展のため 自己修養のため 活動が期待されています。
▽東白川村 連合婦人会 神土団長安江計幸(親田) 越原 安江克彦(黒淵) 五加 栗本忠一(栲本)
▽東白川中学 P.T.A 会長 古田甲子雄(久須見) 副会長 安江多策(大明神) 書記 村雲晴児(中通) 村雲 茂(栲本) 神戸 奨(平) 各務健三(東中) 神土小 P.T.A 会長 大坪一夫(親田) 副会長 安江文吾(親田) 神戸正躬(平) 安江敬一(平) 藤井助太郎(神小) 越原小 P.T.A 会長 桂川完二(黒淵) 副会長 安江文男(日向) 桂川耕作(大明神) 桂川 治(日向)

- 書記 神谷重平(越小) 五加小 P.T.A 会長 安江 弘(大沢) 副会長 土井正己(栲本) 今井 保(宮代) 今井 勝(大沢) 今井嘉造(下野) 区長及び組長 神土区長 吉村鉄一(平) 副 安江峰雄(加舎尾) 大口組長 安江 進 平 今井孟治 下親田 安江文吾 上親田 安江忠雄 中親田 村雲宅郎 神付 村雲康平 中谷 安江寅彦 加舎尾 山口善市 西洞 各務政一 越原区長 松岡正平(陰地) 副区長 安江健次(黒淵) 曲坂組長 苅田喜郎 日向 桂川伊三 蔭地 今井政一 栲山 桂川祐一 黒淵 今井清八 大明神 高井喜四郎 五加区長 今井一雄(大沢) 副区長 今井高治(大沢) 栲本組長 栗本喜三 宮代 今井利夫 大沢 今井源 下野 今井実郎 久須見 古田 保

農業の近代化がすすみ、機械化、品種改良、施肥、防除技術の向上されたなかで聞くチグハグな会話が、ごく自然にかわされていくのである。機械を導入したのは省力化もあるが、周囲より早くすませるため、早生品種を栽培するのは労働ピークの緩和ではなく、出るだけ仕事を早く片付けるため、... 少なくなったとはいえ、そういつた極端なことばかりでなく、村の中で実際見聞きできる。
○ 農繁期になるとどうしても家庭内から笑い声が消えがちになることが多い、それは、時間に「すき間」というものがなくなるからだろう。食事の時間、休憩の時間を惜しみ、そして手間のかからない食事ということから、どうしても粗食になる。粗食になると疲れるのがつて気嫌が悪くなる何か、風が吹くと桶屋が...の話みたいだが、そういつた悪循環がまだまだ家庭内に残っている。
○ 忙しい時こそ、時間の区切りをしつかりとして、仕事、休憩を割りきつて、家庭内を明るくするようにしたいもの、その一番の重要な役割を果すが、一家の主人であり主婦であると思う。周囲を見まわす目で家庭内をじっくりと見つめ、泣きごとを冗談にいいかえられるくらいにしたいものである。
○ 農村の合理化は直接的に生産につながるものだけではなく、家庭内、人づきあいの合理化から入り、いわゆる「すき間」のある生活を過したいものだ。